政策分野Ⅳ

第４節　社会基礎・防災・防犯

誰もが安心して、生活できる社会基盤の整備と、防災基盤を強化するとともに、住民の防災意識の醸成と、地域コミュニティの防災体制を整えます。

まちづくりの基本方向４

みんなで支え合う安心なまち

【 主要分野 】

【アンケート・地域懇談会・事業者団体ヒアリングの結果】

○住民の多くは避難環境の改善、未然に災害を防げる災害に強いまちづくりを求めており、自助・共助による地域防災力の強化を見直すことが望まれています。
○道路や上下水道など生活を支えるインフラの老朽化が進んでおり、不安のない適切な管理が求められています。
○雪害による除雪や防災体制の見直しが求められています。
○公共料金の負担軽減が望まれています。
○「有害鳥獣対策」における優先度は大幅に高くなっており、自然環境に配慮した有害鳥獣対策が求められています。
○防災情報や災害発生時の避難に関する情報について、高齢者にもわかりやすく全住民にリアルタイムな情報が伝わるよう、IT 技術を駆使した情報の伝達方法の改善が求められています。

【関連する分野】

○防災対策や地域の支えあいが充実し安全に暮らせるまちを求めています。
○地域の防災力の強化、避難所の整備や地域の防災体制の見直しが求められています。
○独居高齢者の見守りなど、地域で支え合う必要性が高まっており、地域と行政が協働した避難誘導等､防災の仕組みづくりが求められています。
○情報通信技術の導入を促進するため、スマホ等を使い慣れていない住民を対象とした説明会やセミナーの開催が求められています。

施策 13　快適で安全な道路網をつくります

めざす住民の生活状態

○国・県道の改良・整備が良好に維持され、地域間の幹線道路が適正に保全されており、通院、通勤・通学、買い物等の生活機能の広域的な利便性が保たれています。
○歩道の整備や除雪体制の確保、道路・橋梁等への老朽化対策が適正になされ、年間を通じて安心して通行できる、生活密着道路が良好に維持されています。

現状と課題

本町には、高速道路をはじめとして主要幹線となる国道・県道が縦横に走っています。
また、生活道路である町道はおおむね「道路網」として充足しつつあります。さらに、農林道は産業の形態に合わせて整備されています。
しかし、国道・県道・町道の一部は、狭隘であったり、急こう配であったり、危険箇所を抱えていたりと、まだまだ改良の必要性があります。農林道についても産業振興策のインフラとして確実な整備が必要です。

【町民意見・提言】
- 町内どこでも直接自宅まで救急車、消防車、タクシーが入れる道路を整備してほしい。
- 歩道をきちんと整備してほしい。
- 道路脇の草木や障害木の伐採をしっかりしてほしい。
- 車だけに頼らざるえない。自転車にのりたくても道路は危ないところがある。

施策の展開方針

本町には、高速道路、国道、主要地方道、一般県道、町道があり、住民の暮らしと産業活動などを支え、便利で活力あるまちづくりを支える社会基盤として、重要な役割を果たしています。
特に広域道路網は中国縦貫自動車道、国道 186 号からなる東西軸と国道 191 号、同 433 号の南北軸により広域連携軸が構成されています。
今後は、広域道路網の安全性と利便性を維持し、国・県・関係市町との連携による機能性の向上や改良整備を促進します。
一方、地域内道路は、住民の日常生活を支える生活道路としての役割を果たすものです。このため、機能強化と安全性・利便性の向上のため、計画的な道路整備を推進します。
町道については、緊急性や安全性を最優先とし、計画的な改良を進めます。

◆成果指標

No.	目標指標	現状値（R1）	目標値（R6）	担当課	指標データ出典元
1	道路瑕疵による交通事故件数	１件	０件	建設課	山県警察署

戸河内ＩＣ（道の駅来夢とごうち）周辺

◆個別施策

033	安全な道路網の整備	担当課	建設課

国・県道の改良・整備を促進することで、地域間の幹線道路を適正に保全し、通院、通勤・通学、買い物等の生活機能の広域的な利便性を向上させ、町内各地域を結ぶ国・県道や町道の改良・整備を進めることで、生活に密着した道路網の利便性を高めます。また、農道や林道の維持・整備により生産基盤の良好な保全に努めます。

	主要事業	活動指標名	現状値（R1）	目標値（R6）	担当課
1	町道整備事業	町道整備件数	２件	４件	建設課
2	橋梁施設改良事業	橋梁補修	４件	７件	建設課

034	安全な道路網の維持・管理	担当課	建設課

歩道の整備や除雪体制の確保、道路・橋梁等への老朽化対策の実施により年間を通じて安心して通行できる、生活密着道路を良好に維持します。

	主要事業	活動指標名	現状値（R1）	目標値（R6）	担当課
1	町道維持管理事業	町道維持補修件数	１２０件	１２０件	建設課
2	林道施設管理事業	林道維持件数	３０件	３０件	建設課

国道 186 号筒賀

国道 191 号戸河内

除雪作業の様子

橋梁点検の様子（横川付近）

施策 14　安全な水を安定供給します

めざす住民の生活状態

○水道施設が適正に管理され、良質な水が安定供給されています。

現状と課題

本町の水道施設は安全で良質な水を安定的に供給していますが、多くの施設が老朽化しています。平成２８年度に町内水道の事業単位が一本化され、新たな給水人口・区域を設定しています。それに合わせて計画的な更新を行うことが必要です。

【町民意見・提言】

- 計画的な老朽化対策が必要。

施策の展開方針

本町では、安心・安全で安定した水道水を供給するため、適切で確実な施設維持管理を行ってきました。しかし、施設の老朽化が進んでいることから、その更新が重要な施策となります。

平成 28 年度に町内水道の事業単位を一本化させ、新たな給水計画を策定し水道施設を健全に保つための施設更新事業を推進しています。

また、災害対策として、生活基盤の被害を最小限にするため、耐用年数が超過した水道施設の耐震化に取り組みます。

◆成果指標

No.	目標指標	現状値（R1）	目標値（R6）	担当課	指標データ出典元
1	町内漏水量	５３㎥	５０㎥	建設課	漏水量調査（町調）
2	水質検査適合割合	１００％	１００％	建設課	水質検査適合調査（町調）

◆個別施策

035	上下水道施設の適正管理と整備	担当課	建設課

安定した水道供給のため、水道事業更新計画に基づく施設の更新と監視体制の整備を実施します。また、水道施設の適正な管理を行い、安心で安全な水を供給します。また老朽化による配水管等の更新を計画的に実施します。

	主要事業	活動指標名	現状値（R1）	目標値（R6）	担当課
1	簡易水道施設管理事業	施設点検回数	５０回	５０回	建設課
2	配水管更新事業	配水管更新整備延長	３００ｍ	３００ｍ	建設課

036	町水道未普及地域の水道施設の管理支援	担当課	住民生活課

地域管理の水道組合、個人井戸の維持管理を支援します。

	主要事業	活動指標名	現状値（R1）	目標値（R6）	担当課
1	生活用水取水施設整備事業	広報での制度周知	０回	１回	住民生活課

水質検査の様子

施策 15　衛生的な排水処理をすすめます

めざす住民の生活状態

○下水道施設が適正に管理され、衛生的で快適な生活環境と自然環境が守られ、住民はその環境的恩恵を享受しています。

現状と課題

本町の排水処理は、特定環境保全下水道・集落排水下水道による集合処理と個人で設置されている個別処理（合併浄化槽）により行われています。町で設置している集合処理施設においては、施設の老朽化が進んでおり、今後は、計画的な更新が必要です。

【町民意見・提言】

- 水道料金や浄化槽の維持費が高額で、負担感がある。

施策の展開方針

衛生的な排水処理を進め、快適で住みよい暮らし環境の実現を目指し、公共下水道や合併浄化槽の普及に努めます。

特に、太田川上流域に暮らす私達安芸太田町民の責務として、河川環境への負荷軽減や水質向上に取り組む必要があるため、浄化槽の普及促進と下水道への加入促進、老朽化した施設の長寿命化に取り組み、安全で周辺環境に配慮した施設整備を進めます。

◆成果指標

No.	目標指標	現状値（R1）	目標値（R6）	担当課	指標データ出典元
1	水洗化率（集合処理区）	８４％	８８％	建設課	水洗化率調査（町調）
2	水洗化率（集合処理区外）	６７．１％	７５％	建設課	水洗化率調査（町調）

◆関連する計画等

No.	関連する計画等	担当課
1	安芸太田町一般廃棄物処理基本計画（生活排水処理基本計画）	住民生活課

◆個別施策

037	浄化槽の維持管理の支援	担当課	建設課

集合処理区域外の合併浄化槽の設置補助及び設置後の維持管理費用の負担軽減を実施します。

	主要事業	活動指標名	現状値（R1）	目標値（R6）	担当課
1	合併浄化槽設置整備事業	合併浄化槽設置件数	７件	５件	建設課
2	浄化槽維持管理費補助事業（法定検査補助）	合併浄化槽法定検査補助件数	５９３件	６８０件	建設課

038	下水道基本構想の検討と持続可能な設備体制の整備	担当課	建設課

下水道施設を適正に維持管理し、衛生的で快適な生活環境をめざします。

	主要事業	活動指標名	現状値（R1）	目標値（R6）	担当課
1	特定環境保全公共下水管理事業	広報による下水道加入啓発回数	２回	２回	建設課

水道管路確認の様子

施策 16　災害に強いまちづくりをすすめます

めざす住民の生活状態

○山間部の地域特性を踏まえた協働の防災体制の強化によって安心して暮らすことができます。
○災害発生を見据え、住民・行政が協働により災害への備えを怠らず、災害発生時にも被害を低減させる防災基盤が整備されています。

現状と課題

安芸太田町の防災・減災対策は、地域防災計画に基づいて運用しています。
今後は、危険箇所の周知や、より安全な避難場所の確保のほか、避難行動要支援者名簿の更新等ソフト面での避難体制の整備を進めるとともに、土砂災害警戒区域の砂防、治山施設の整備や太田川浸水想定区域の護岸改修等のハード面の更なる整備を行っていく必要があります。

【町民意見・提言】
- 災害時の避難が可能な避難路（橋を含む）をしっかりと整備してほしい。
- 山に囲まれたこのまちでは、近年の異常な天候による災害が不安。
- 町民にわかりやすい情報伝達の仕組みが必要。
- 防災無線の内容を、画面を通じて、文字情報で確認できるようにしてほしい。

施策の展開方針

東日本大震災や平成２６年８月の広島土砂災害、平成 30 年豪雨災害など、安全で、安心して暮らせる防災への関心が、かつてないほどに高まっています。
国においては、防災・減災対策の強化のために災害対策基本法を改正し、南海トラフ巨大地震等による広域災害に備えた国土強靭化基本法を制定しました。
本町においても、土砂災害や倒木などが頻繁に発生するなど、災害に強い社会基盤の整備が求められており、道路、砂防・治山、河川護岸事業等を国、県と積極的に連携し推進します。
また、公共施設の耐震化等ハード整備のほか地域特性に応じた避難体制や孤立集落対策等のソフト面の強化を進め、一層の住民の安全確保に努めています。
住宅行政においては、住宅の耐震診断の促進、耐震補強策などへの支援などに取組み、被害を少しでも小さくするための災害に強い社会基盤づくり、減災対策に取組みます。

◆成果指標

No.	目標指標	現状値（R1）	目標値（R6）	担当課	指標データ出典元
1	防災行政無線（同報系）デジタル化の進捗率	0%	100%	総務課	受信機配布率調査（町調）
2	道路防災事業実施件数	2 件	2 件	建設課	道路防災事業実施調査（町調）

◆関連する計画等

No.	関連する計画等	担当課
1	安芸太田町地域防災計画	総務課

落石対策工事の現場（加計 SIC 入口付近）

河川点検の様子（坪野付近）

◆個別施策

039	風水害・震災等から暮らしを守る設備の整備	担当課	建設課 総務課

砂防・急傾斜施設や治山施設の整備、河川の護岸改修等自然災害の被害を減少させるための防災・減災事業を進めます。また、住民を災害から未然に守るため、発災時等に的確に防災情報を伝えられるよう、希望する全戸に「防災行政無線個別受信機」の配布を行い、風水害・震災等から住民の暮らしを守ります。

	主要事業	活動指標名	現状値（R1）	目標値（R6）	担当課
1	河川維持事業	河川維持件数	３件	４件	建設課
2	急傾斜施設維持工事	急傾斜施設維持工事件数	３件	３件	建設課

040	災害に強い社会基盤の整備	担当課	建設課 総務課 住民生活課

消防団拠点の整備等により、自然災害発生時の減災と災害に強く安心できる社会基盤の確立を図ります。

	主要事業	活動指標名	現状値（R1）	目標値（R6）	担当課
1	町道整備事業【再掲】	町道整備件数【再掲】	２件	４件	建設課
2	橋梁施設改良事業【再掲】	橋梁補修【再掲】	４件	７件	建設課

昭和63年7月豪雨災害（殿賀）

この災害の特徴は，集中豪雨による土石流災害である。被災地は，広島県北西部の主に加計町，戸河内町，筒賀村の一部に集中した。この地域一帯の地質は，黒粗粒雲母花崗岩を基盤岩としており，これが風化してできたいわゆる「マサ土」である。水を通しやすくもろいマサ土になりきれない岩が点々と残っており，短時間の豪雨で谷を下る水は，渓床に堆積した土砂とともに渓岸をえぐり，立木をなぎ倒し，砂防ダムを乗り越えて山裾の集落を襲った。このため，民家は，流出し，埋没し，また死傷者 25 人という大きな被害を被った。さらに，農林業，土木，鉄道などにも大きな被害を受けた。

（広島県 HP より抜粋）

施策 17　地域の消防・防災体制の充実を図ります

めざす住民の生活状態

○孤立状態でも自主防災組織や消防団などの地域の防災力によって初動対応が可能な体制が整備されています。

現状と課題

安芸太田町は、山間地域にあって危険渓流や急傾斜地も多く、避難対策や孤立対策が不可欠であることから自主防災組織の結成支援や備蓄倉庫の整備等を行っています。今後は、地域人口や消防団員の減少傾向を踏まえ、各家庭、地域、消防団、町等が連携する実践的な避難訓練等を実施して防災意識を醸成するほか、自主防災組織や消防団等の地域の防災力維持が求められます。

【町民意見・提言】

- 各地域に自主防災組織の仕組み・人材育成が必要。
- 普段から横のつながりを大切にして、災害時に住民同士声を掛けあうなどの意識が持つ必要がある。
- 自然災害など消防団の活動はリスクが大きいので、安全に活動ができるよう支援してほしい。

施策の展開方針

過疎高齢化によって人的にも物的にも地域の防災力は低下していく傾向にあります。

地域の防災力を維持するためには、自助・共助・公助を基本とする全町的な取組みが不可欠であり、地域住民の自主防災組織への参画や消防団への入団を促し、避難行動要支援者名簿の情報共有や双方向的な連絡体制を確立し、ヘリコプター輸送などを含めた食糧・飲料水、毛布、通信端末、電源などの物資の調達体制を確立する必要があります。

さらにドローンを活用した被災概況の把握や情報の集約等、有事の際にも正確で迅速な対応ができるよう、体制整備を進めます。

また、高度な救助が必要な場合に備えて、広島市消防局安佐北消防署安芸太田出張所や広島県との連携強化を図り、迅速な応援体制の整備に努めます。

◆成果指標

No.	目標指標	現状値（R1）	目標値（R6）	担当課	指標データ出典元
1	自主防災組織の組織率	４１．３％	６０％	総務課	自主防災組織調査（町調）
2	町人口に対する消防団員数比率	６．８％	６．５％	総務課	消防団員数調査（町調）

◆関連する計画等

No.	関連する計画等	担当課
1	安芸太田町地域防災計画	総務課

消防ポンプ操法大会の様子

「土砂災害防止」パネル展（役場本庁）

◆個別施策

041	地域の防災体制を整備	担当課	総務課

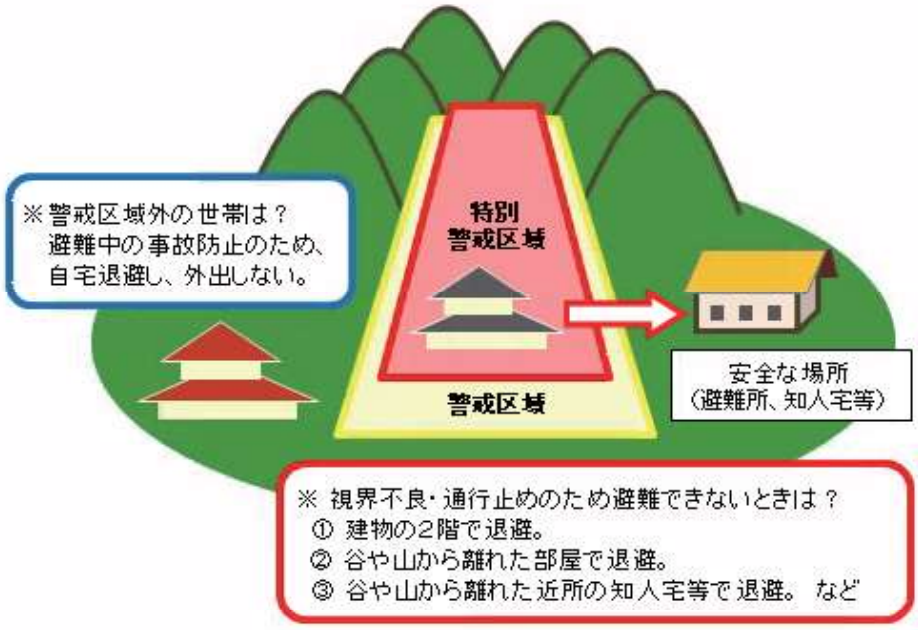
自主防災組織の結成を促進するとともに、防災拠点施設整備や防災マップ※の作成、町防災計画に沿った避難行動要支援者対策を推進し、自主的な防災活動を強化します。

	主要事業	活動指標名	現状値（R1）	目標値（R6）	担当課
1	より安全な避難場所の確保	防災マップの更新・配布	０件	１件	総務課
2	自主防災組織育成支援	自主防災組織との協議回数	０件	１０件	総務課

042	消防体制の機能強化	担当課	総務課

消防団機能的な体制整備、装備の充実強化を進めるとともに、広島市消防との連携と体制の強化を図り、地域に密着したきめ細やかな防災活動を進めます。

	主要事業	活動指標名	現状値（R1）	目標値（R6）	担当課
1	減災・防災・備蓄事業【再掲】	備蓄倉庫消防屯所機能強化整備数（延べ数）	０箇所	３箇所	総務課
2		防火水槽整備数	０箇所	１箇所	総務課



安芸太田町防災マップ

※ 防災マップ：地震や河川の氾濫などの自然災害が発生した場合に、住民が素早く安全な場所に避難するために必要な情報等を、地図上に描き記したもの。

施策 18　犯罪から暮らしを守ります

めざす住民の生活状態

○地域の防犯体制を強化することで、地域の犯罪被害が減少しています。
○地域治安や安全が良好に保たれ、安全な暮らしが保たれています。

現状と課題

安芸太田町の犯罪発生件数は、都市部と比較すれば多くは発生していませんが、社会情勢の変化による犯罪の複雑化による高齢者を狙った犯罪及び消費者トラブルの増加が進んでいます。

今後は、高齢者が犯罪等の被害者にならないための啓発に加えて、若年者層からの教育・啓発も重要であり、インターネットを使った犯罪の防止対策の充実も必要です。

【町民意見・提言】

- 夜間が暗いので夜歩くのが怖い。街灯を増やしてほしい。

施策の展開方針

近年、子どもや女性・高齢者を対象とする犯罪被害が増加しており、治安の維持・回復に対する人々の要求が高まっています。

本町においては安全な住民生活が保たれているものの、広域的な犯罪の増加や社会環境が急速に変化する現在、防犯対策の一層の充実が求められます。

このため、警察、関係機関と地域安全ボランティア団体などで相互に連絡、調整しながら、防犯活動の継続につながる支援を行っていきます。

さらに、子どもや高齢者の防犯意識の向上を図るとともに、子ども１１０番等の取組みを推進します。また、危険な箇所への防犯灯設置など、犯罪を発生させない環境づくりを進めます。

加えて、悪質な訪問販売や振り込め詐欺などによる消費者被害を防止するための広報及び自立した賢い消費者の育成のために、消費者教育・啓発を行い、住民の自立及び支援に取組みます。

◆成果指標

No.	目標指標	現状値（R1）	目標値（R6）	担当課	指標データ出典元
1	町内刑法犯認知件数	４件	０件	総務課	山県警察署

◆個別施策

043	犯罪（詐欺）被害の防止	担当課	総務課 産業振興課

犯罪被害ゼロのまち実現に向けて、山県郡防犯連合会等関係機関との連携を図り、犯罪を未然に防止する取組みを進めます。また、住民の消費生活の安全を確保するとともに、消費者トラブルの解決を支援する取組みを進めます。

	主要事業	活動指標名	現状値（R1）	目標値（R6）	担当課
1	防犯対策事業	防災無線での啓発活動	１回	１回	総務課
2	消費生活相談事業	若年層から高齢者までの消費者教育・啓発の回数	５回	５回	産業振興課

特殊詐欺の認知状況

区分		認知件数	被害額
H30	1～12月	0	万円
	12月	0	万円
H29	1～12月	0	万円
	年間	0	万円

※　認知件数，被害額とも暫定値。被害額は概算。
※　被害者の住居地別に集計。

広島県全体

区分		認知件数	被害額
H30	1～12月	177	3億4,855万円
	12月	9	1,838万円
H29	1～12月	405	10億1,592万円
	年間	405	10億1,592万円

※広島県警察 HP「安芸太田町犯罪等発生状況（平成 30 年度）」から抜粋

施策 19　交通事故のないまちをつくります

めざす住民の生活状態

○地域の交通安全対策と推進体制を強化し、安全に通行できる設備が整うことで、交通事故が減少しています。

現状と課題

安芸太田町の交通事故発生件数は、冬期間に交通事故数が増加する傾向にありますが、近年横ばいか減少傾向にとなっています。

交通事故の特徴は、高齢者の交通事故が増加傾向にあるため、高齢者の交通事故対策が必要であるとともに、飲酒運転の撲滅運動を展開する必要があります。

【町民意見・提言】

- 自転車専用道を整備してほしい。最近自転車が多く、自動車との事故が心配。
- 高齢者が狭い歩道を歩いているのをよく見かける。車との接触事故が起きないか心配になる。

施策の展開方針

高齢化の進む本町においては、高齢者の関与する交通事故件数の増加が懸念されており、高齢社会にふさわしい交通安全策が求められています。

一方、自動車による子ども送迎が多いため、学校や、高齢者福祉施設等と連携した交通安全教育の強化を図ります。

また、各団体や警察との連携を強化し、道路交通事故対策に努めるとともに、通学路の改良や、子どもや高齢者、障がい者など交通弱者にとって安全な歩道の整備、段差解消などを進めます。

◆成果指標

No.	目標指標	現状値（R1）	目標値（R6）	担当課	指標データ出典元
1	交通事故町内発生件数	１０件（H30 実績）	８件	総務課	広島県交通統計

◆個別施策

044	交通マナーの向上	担当課	総務課

交通事故ゼロの町の実現に向けたマナー向上対策を進めます。

	主要事業	活動指標名	現状値（R1）	目標値（R6）	担当課
1	交通安全対策事業	交通安全テント村設置回数	４回	４回	総務課

区　分	平成29年			平成30年			増減数		
	件数	死者数	負傷者数	件数	死者数	負傷者数	件数	死者数	負傷者数
総　数	12	2	13	11	0	14	-1	-2	1
1　月	1	0	1	1	0	1	0	0	0
2　月	3	0	4	1	0	1	-2	0	-3
3　月	2	0	3	2	0	3	0	0	0
4　月				2	0	2	2	0	2
5　月							0	0	0
6　月							0	0	0
7　月	1	0	2	1	0	1	0	0	-1
8　月	2	0	2				-2	0	-2
9　月							0	0	0
10　月	1	0	1	2	0	2	1	0	1
11　月	1	1	0	1	0	1	0	-1	1
12　月	1	1	0	1	0	3	0	-1	3
上　半　期	6	0	8	6	0	7	0	0	-1
下　半　期	6	2	5	5	0	7	-1	-2	2

※ 広島県警察 HP「平成 30 年 広島県内市区町別交通事故発生状況」から抜粋

広島県交通事故発生状況
（広島県警察 HP）